

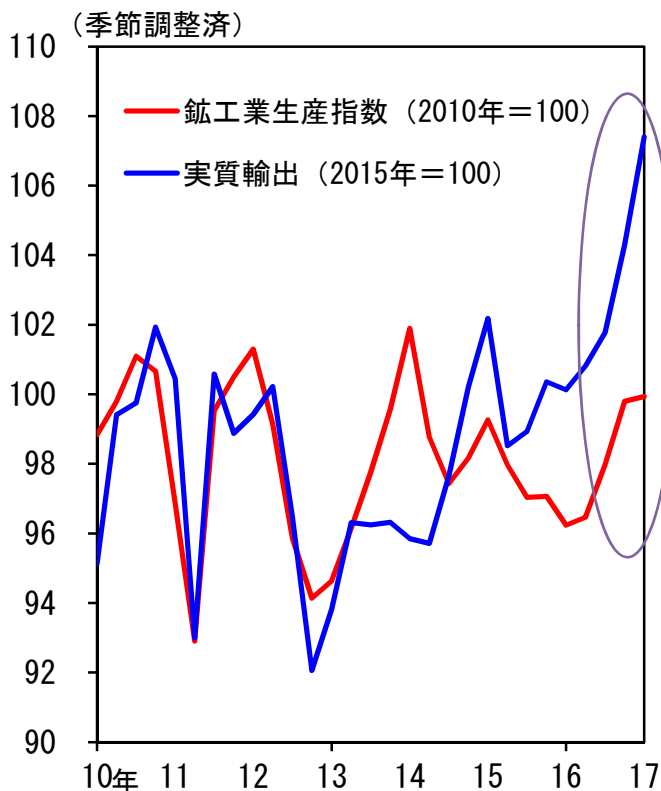
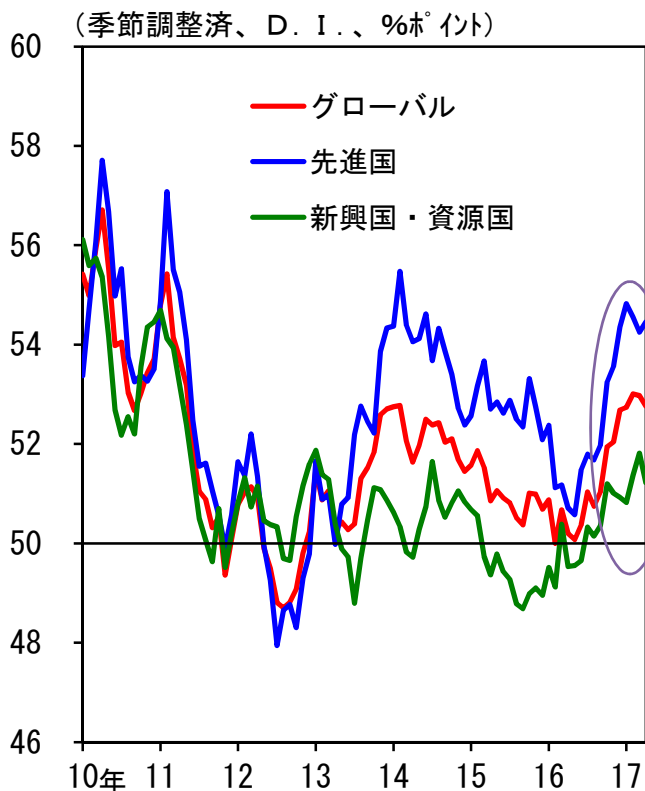
# 黒田議員提出資料

平成 29 年 5 月 11 日

# 経済情勢 (1)

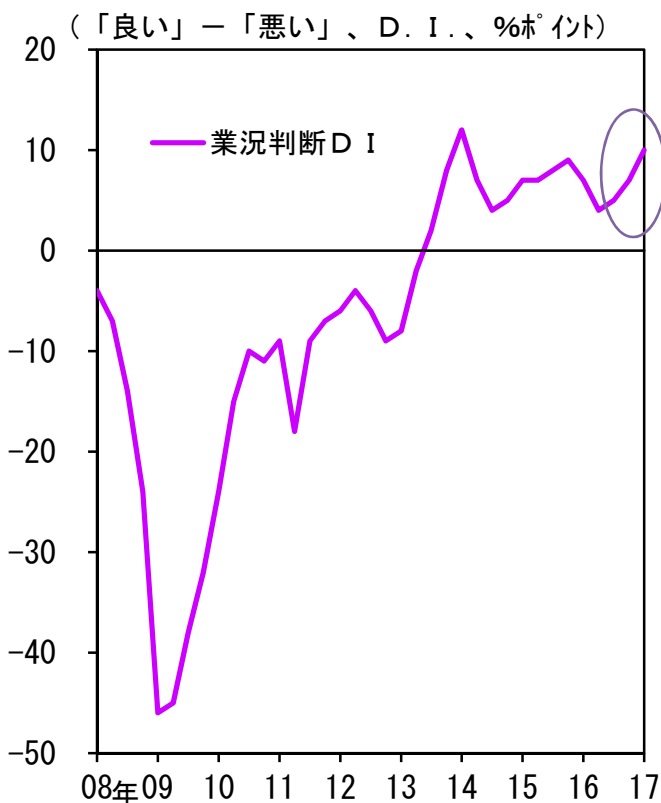
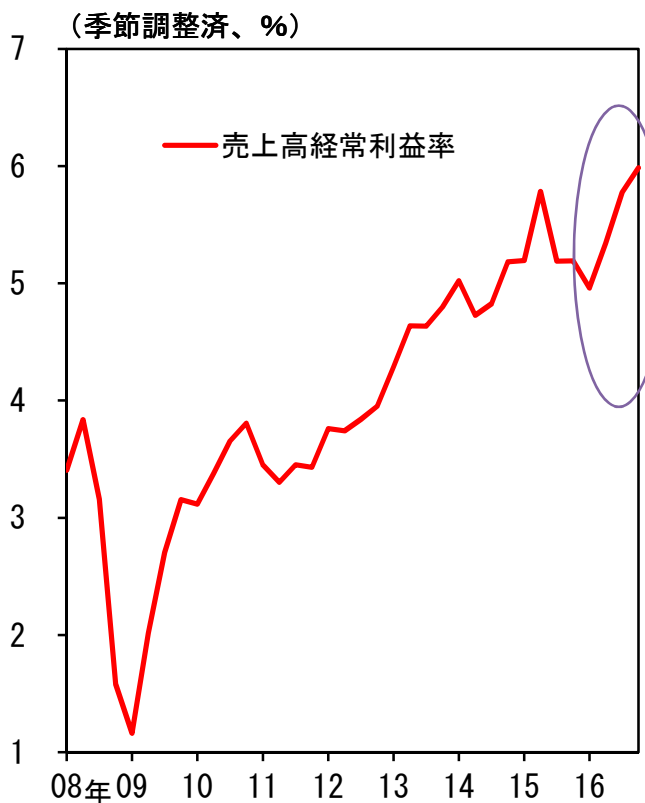
(1) グローバル製造業の景況感 (PMI)

(2) 輸出・生産



(3) 企業収益 (法人季報、全産業全規模)

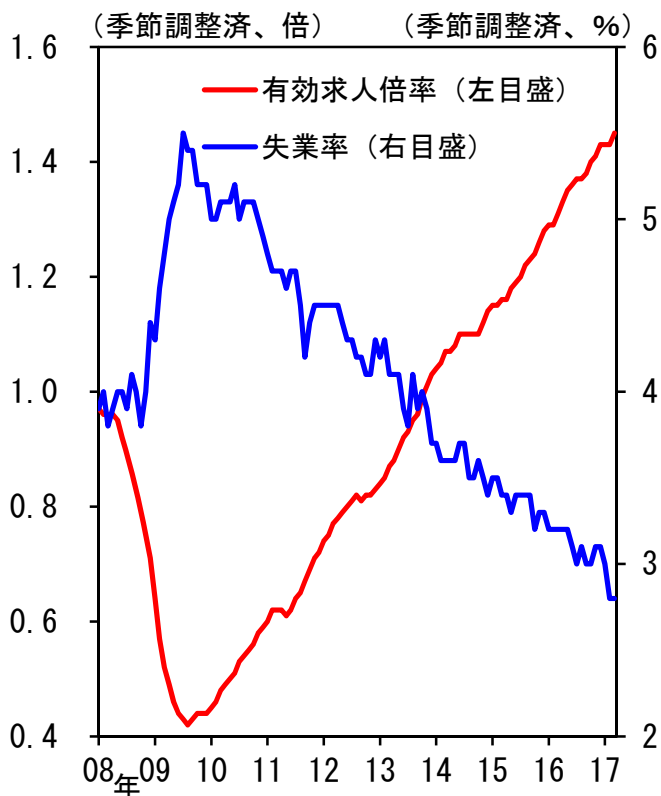
(4) 業況判断 (短観、全産業全規模)



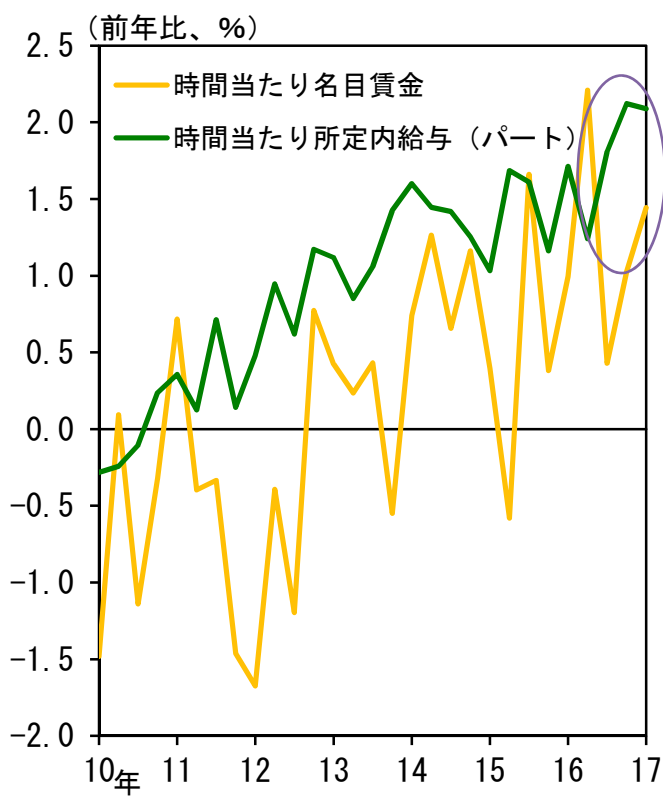
(資料) IHS Markit (© and database right IHS Markit Ltd 2017. All rights reserved.)、  
経済産業省、財務省、日本銀行

# 経済情勢 (2)

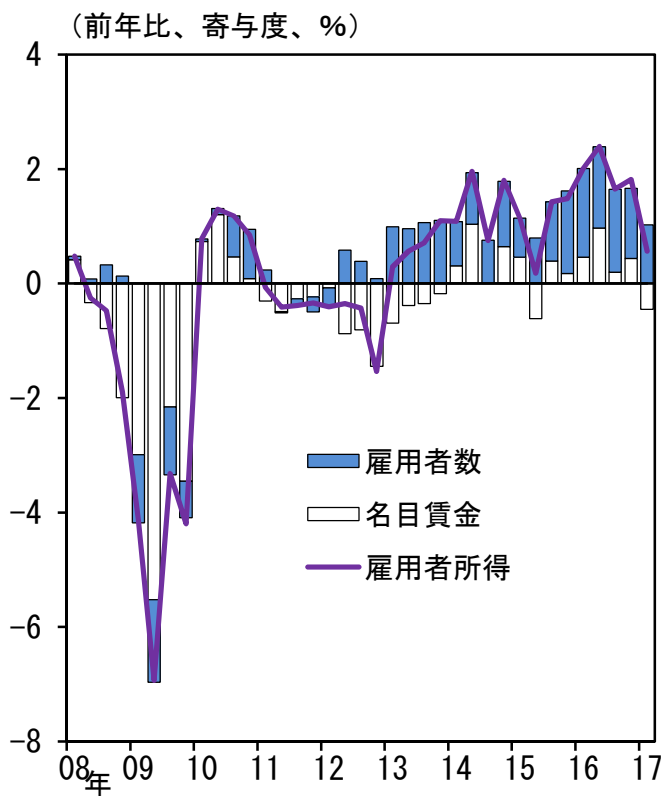
(1) 労働需給



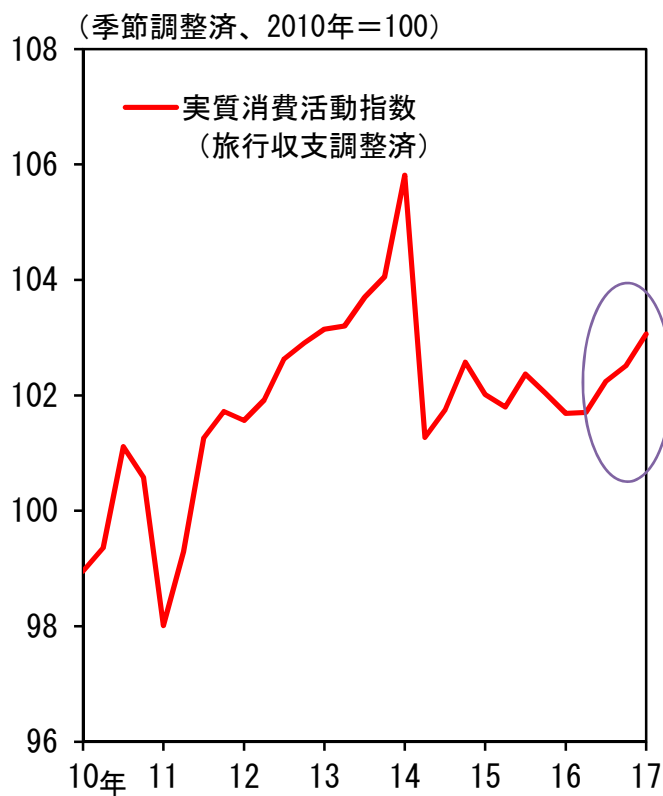
(2) 賃金動向



(3) 雇用者所得



(4) 消費動向

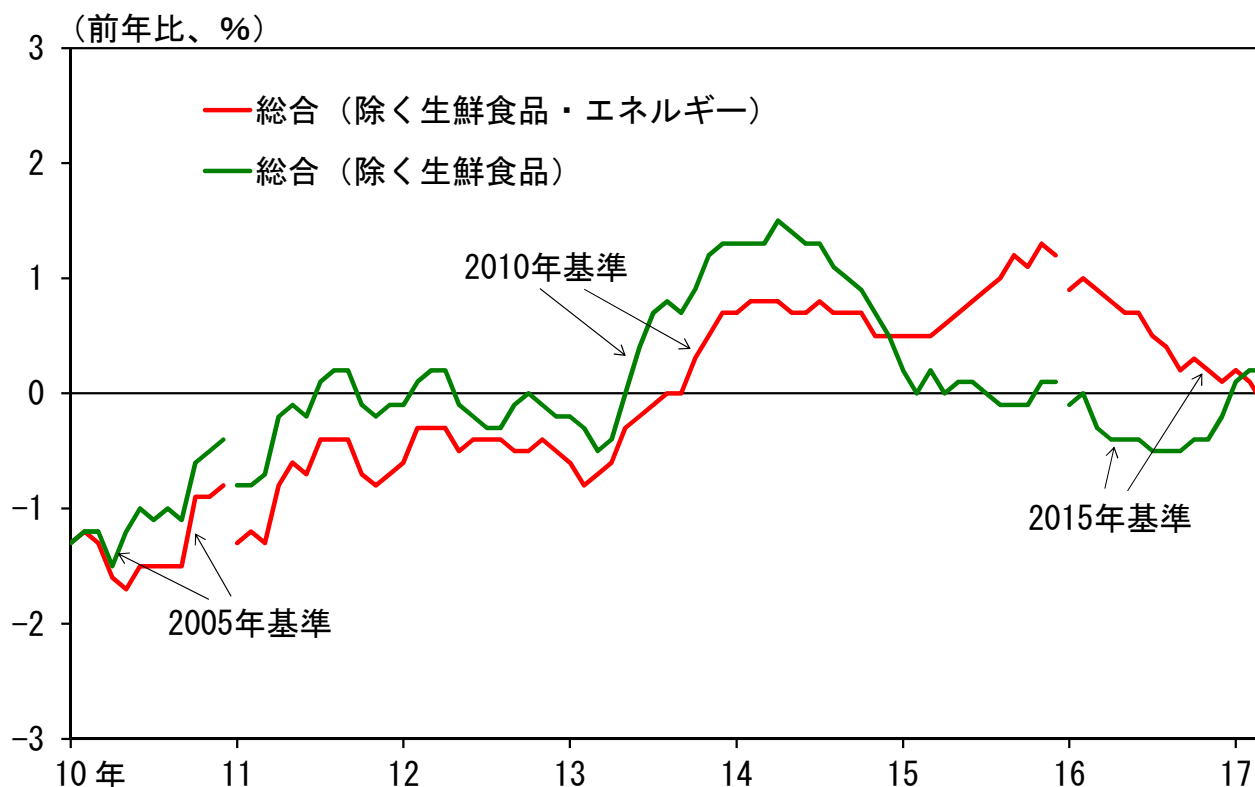


(注) (2) の時間当たり名目賃金、時間当たり所定内給与 (パート)、(3) の名目賃金、雇用者数は次のように組替え。第1四半期：3～5月、第2四半期：6～8月、第3四半期：9～11月、第4四半期：12～2月。2017/1Qは、3月の値。

(資料) 厚生労働省、総務省、日本銀行

## 物価情勢と経済・物価見通し

## (1) 消費者物価指数



## (2) 展望レポート (2017年4月) の政策委員見通しの中央値

▽政策委員見通しの中央値 (対前年度比、%)

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)
2017年度	+1.6	+1.4
(1月の見通し)	+1.5	+1.5
2018年度	+1.3	+1.7
(1月の見通し)	+1.1	+1.7
2019年度	+0.7	+1.9

※ 消費者物価 (除く生鮮食品) の前年比が、2%程度に達する時期は、見通し期間の中盤 (2018年度頃) になる可能性が高い。

(注) 1. (1) の消費者物価指数は、2014/4月の消費税率引き上げの直接的な影響を調整 (試算値)。

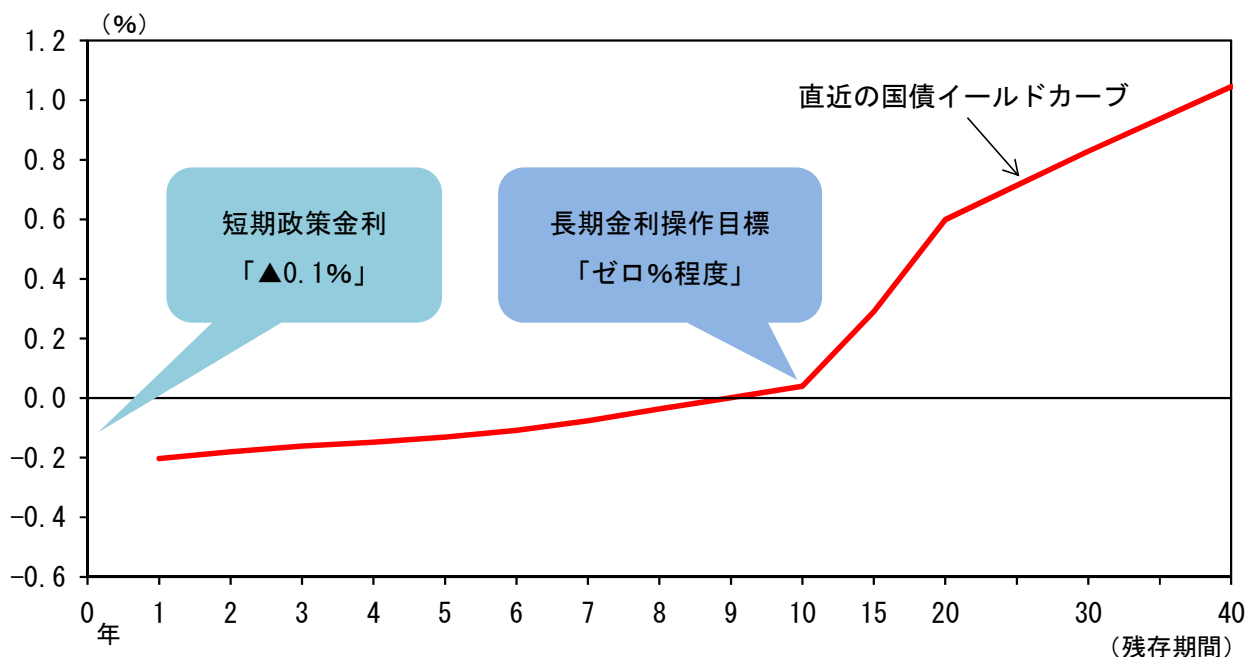
2. (2) の消費者物価指数 (除く生鮮食品) は、消費税率引き上げの影響を除いたベース。

(資料) 総務省、日本銀行

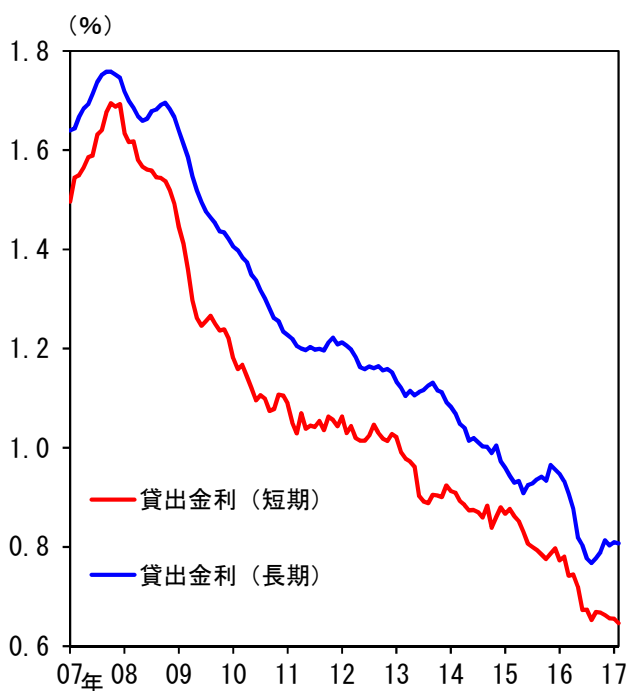
# 金融政策運営と金融環境

## (1) 長短金利操作付き量的・質的金融緩和

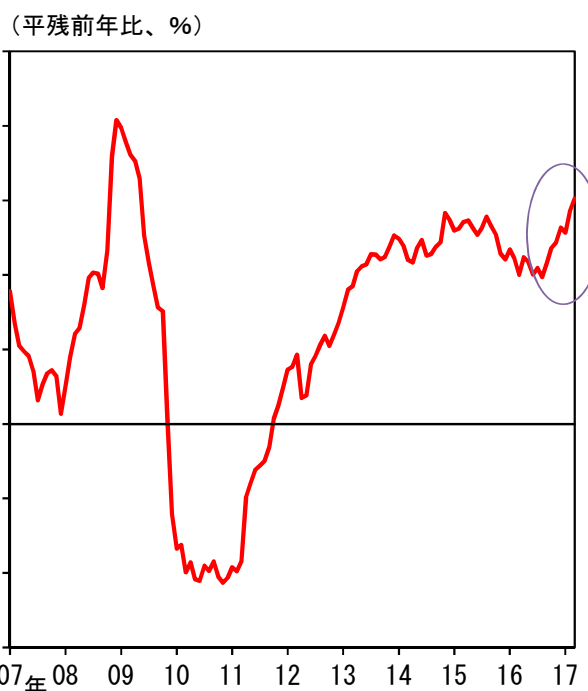
経済・物価・金融情勢を踏まえて、2%の「物価安定の目標」に向けたモメンタムを維持するために最も適切と考えられるイールドカーブの形状を促す。



## (2) 貸出金利



## (3) 民間銀行貸出



- (注) 1. (1) の直近の国債イールドカーブは、終値ベース。  
2. (2) は、貸出約定平均金利（国内銀行、新規実行分）の後方6か月移動平均値。  
3. (3) の貸出残高には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。

(資料) Bloomberg、日本銀行